

# 東日本大震災とわたし

作成者 H.R

## 1. 地震当日 2011.3.11 の私の体験

## 2. 地震後 3 ヶ月間の私の動き

## 3. 今私にできること

## 英語要約文

### 1. 地震当日 2011.3.11 の私の体験

6時間目が始まる直前、先生がまだ教室に来なくて教室で友達とはなしていると、いきなり強い揺れがきた。地震はものすごく長くて気持ち悪くなるほどだった。2回目3回目と余震が続き、みんなで机の下に隠れた。

この日は6時間目の授業もなくなりそのまま帰ることになった。

車で母が迎えに来てくれた。途中、信号がついていなかったり街灯がともっていなかったりしていた。家からの明かりもなく、真っ暗な道で少し不気味だった。コンビニエンスストアで水を沢山買っている人もいて、スーパーやコンビニエンスストアは明かりがついていないのにとっても混んでいるようだった。

家に着くと家の電気は灯っておらず、ろうそくをつけていた。ストーブの上でお湯を沸かしてカップラーメンを食べた。

夜はみんなで1階の居間で寝た。

次の日、電気が通ってテレビが見れるようになった。津波の映像が流れていてかなりショックを受けた。

## 2. 地震後3ヶ月の私の動き

地震があつてから、色々なところで変化が起きた。

まず、スーパーから色々なものが消えた。カップラーメンはほぼ売り切れていた。牛乳などの乳製品もなくなった。

スーパーには大震災の募金箱が設置されていた。

また、地震による停電や、電気不足で節電をすることになった。

私には少しの募金と家でこまめに電気を消すくらいのことしかできなかった。

ニュースでは、ゴールデンウィーク中に被災地へボランティアをしに行く学生などをやっていた。私はボランティアに参加することはなかったけど、その人たちを見て、すごく立派だと、私も自分から積極的にボランティアにいけるような人になりたいと思った。

## 3. 今私にできること

今私にはスーパーで物を買ったついでに少しのおつりを募金箱へ入れることと、家でこまめに電気を消してみたり節水に心がけたりすることしかできない。

しかしこれを沢山の人ですることによって大きな財産になると思う。今、まだ地震がたまに起きたりしている。この次に大きい地震が来た時にもっと日本人が団結して節電や節水をすることで被災地の人々のためになれるようにがんばりたいと思う。

英語要約文 (To an English summary)

In March 11<sup>th</sup> very big earthquake came in Tohoku. I was very scary. My mother came to my school by the car.

When we came back to our home, the light didn't work. I bought the water to boil by the stove for kappu-ramen.

The stricken areas were seen through the Nippon Television Network. I was shocked.  
I cooperated to the fund-raising campaign little by little on the day in a supermarket.  
And I have been keeping water saving and power saving in mind.  
If it can be useful for the people in the stricken area, I am glad.